

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成27年4月30日(2015.4.30)

【公開番号】特開2014-188280(P2014-188280A)

【公開日】平成26年10月6日(2014.10.6)

【年通号数】公開・登録公報2014-055

【出願番号】特願2013-68144(P2013-68144)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成27年3月13日(2015.3.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御する遊技機であって、

可変表示に伴って、前記有利状態に制御される割合が異なる複数種類のリーチ演出を実行可能なリーチ演出実行手段を備え、

前記リーチ演出実行手段は、

一の種類のリーチ演出を開始した後に他の種類のリーチ演出に切り替えるリーチ切替演出を一の可変表示において複数回実行可能なリーチ切替演出実行手段を含み、

リーチ演出の種類に応じて一の種類のリーチ演出を開始してから前記リーチ切替演出の実行可能タイミングの数が異なる、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

しかしながら、上記特許文献1および2に記載の遊技機では、リーチ演出が切り替わるタイミングがリーチ演出において同じタイミングであるため、演出が単調となり遊技興奮を低下させるおそれがある。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

(1) 上記目的を達成するため、本発明の第1の観点に係る遊技機は、

可変表示(例えば特別図柄や飾り図柄などの可変表示)を行い、遊技者にとって有利な有利状態(例えば大当たり遊技状態など)に制御する遊技機(例えばパチンコ遊技機1など)であって、

可変表示に伴って、前記有利状態に制御される割合が異なる複数種類のリーチ演出を実行可能なリーチ演出実行手段（例えばステップ S 5 5 3 の処理を実行する演出制御用 C P U 1 2 0 など）を備え、

前記リーチ演出実行手段は、

一の種類のリーチ演出を開始した後に他の種類のリーチ演出に切り替えるリーチ切替演出を一の可変表示において複数回実行可能なリーチ切替演出実行手段（例えば特殊スーパーリーチのリーチ演出を実行する演出制御用 C P U 1 2 0 など）を含み、

リーチ演出の種類に応じて一の種類のリーチ演出を開始してから前記リーチ切替演出の実行可能タイミングの数が異なる（例えばスーパーリーチ A のリーチ演出からスーパーリーチ B のリーチ演出に切り替える場合には、後段部分で切替え、スーパーリーチ B のリーチ演出からスーパーリーチ C のリーチ演出に切り替える場合には、前段部分と後段部分のいずれかのタイミングで切替えるなど）、

ことを特徴とする。